

HITACHI

Inspire the Next

遠隔監視と予兆診断により、
安定稼働と計画的な保守整備をサポートします。

exiida 遠隔監視・予兆診断^{※1}

設備・保守管理編

^{※1} 「exiida予兆診断」は「exiida遠隔監視」の契約が必要です。予兆診断は冷凍サイクルに起因するものに限りです。

「exiida」は日立の空調IoTソリューションの総称です。

「exiida遠隔監視・予兆診断」は冷凍・空調機器をインターネット上の当社クラウドサーバーへ接続し、膨大なデータを蓄積・分析することでさまざまなサービスを提供します。

これらのサービスは、お客さまの設備に関する維持管理コストの抑制をサポートします。

冷凍・空調機器の管理に対してお悩みはありませんか？

Case 1

機器の定期点検の実施と、
運転状態データを定期的に
保管する必要がある。



Case 2

繁忙期に故障が発生した場合、
迅速な修理対応を
調整することが困難だ。



Case 3

機器の故障による
お客さま設備の不稼働時間を
最小限にしたい。



Case 4

設備を安定稼働させながら、
保守作業のコストダウンも
図りたい。



exiida遠隔監視・予兆診断

お客さまの機器と設備業者さま・設備管理会社さまをサポート

	exiida遠隔監視・予兆診断でできること	期待される効果
Case 1	Webブラウザによる運転データ他の情報が確認可能です。	運転データの一括管理が行えるため、時間の効率化、お客さまとの間での情報の共有により適切な対応が期待されます。
Case 2	予兆診断により必要な事前保守によるリスク低減が可能です。また、故障発生時は登録先へ即時にメールで通知します。	予兆診断の活用による中間期での事前保守対応が可能です。故障発生時はメールで最大6件通知でき、修理対応時の情報一元化による迅速対応が期待されます。
Case 3	exiida予兆診断 ^{※1} (オプション)で機器の安定稼働の提供に努めます。	故障につながる“変化”を検出。予防保全を行うことで不稼働時間の短縮を図り、安定稼働へ貢献します。
Case 4	遠隔監視と予兆診断の技術により、時間基準、さらに状態基準での判断で保守整備をご提案、実施します。	状態基準保守による重故障 ^{※2} に至るリスクを低減。保守の最適化による維持管理コストの抑制、性能低下の抑制や機器の長寿命化も期待できます。

^{※2} 圧縮機の焼損など復旧に時間を要する故障。

遠隔監視の活用例

- Webブラウザにて監視対象機器の運転データを閲覧可能(5分ごとに更新)
- アラーム・リトライ来歴の確認、アラーム発生時の過去30分間の運転データを閲覧可能
- 運転データをcsv形式でのダウンロードが可能
 - ➡遠隔地に設置された機器の状態チェックや運転データ分析の活用
- 積算運転時間データの閲覧が可能
 - ➡圧縮機運転時間の確認で、点検および機器更新のタイミング等をお客さまに提案

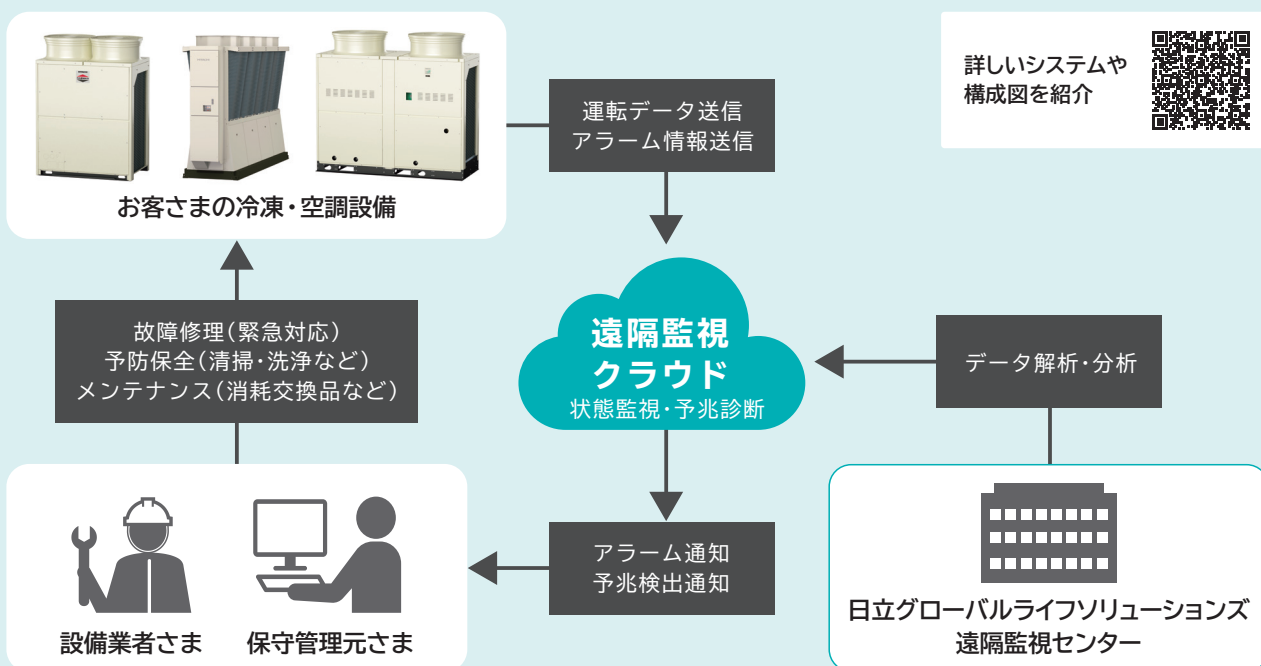
予兆診断の活用例

- 故障につながる変化(=異常の兆候)を検知し、お客さまへ通知
 - ➡冷凍・空調機器の予防保全を提案・実施により安定した稼働をサポート
 - ➡重故障に至る前に保守整備を実施。維持管理コストの抑制や適正運転によるエネルギーのロスを抑制

【オプション】その他の活用例 (※詳細については事前にお問い合わせください。)

- 付帯設備(ポンプ・空調機・ユニットクーラ)の運転・故障状態監視
- 温度・湿度・漏水検知などの環境状態監視や電力量の計測

システム構成例



exiida遠隔監視ご契約者さまは「フロン排出抑制法」管理システムを標準サービスでご利用いただけます。

提供内容 ・点検整備記録簿 ・充填回収証明書 ・漏えい量算出 ・点検予定時期管理など

フロン排出抑制法に関するご紹介はこちら



exiida遠隔監視、予兆診断の利用に際しては、事前契約(有償)が必要となります。サービス料金は遠隔監視アダプターの台数、監視対象機器の種類や数量により異なります。機器の補償内容、予兆診断対象機器、接続台数など詳細については、当社営業窓口までお問い合わせください。